

ふるさと探訪

第12回 横峰寺



四国霊場60番札所の横峰寺は、昔から難所の山岳寺として有名です。

寺の縁起によると、白雉2(651)年に役小角えんのおずぬがこの



地で修行中、石鎚山の頂きに蔵王権現の姿を見て寺を開創されたと伝えられています。

その後、弘法大師も大同年間(806~809年)に登山し、ここで42歳の厄除けの護摩を焚き星供養を行ったとき、再び石鎚山の頂上に蔵王権現が現れたので、この地を「星が森」と呼ぶようになったそうです。

横峰寺の本尊である「大日如来坐像」と、脇侍である「蔵王権現御正体」は、昭和40年に愛媛県の文化財に指定されています。

そして、横峰寺で文化財にも増して有名なのは、本堂横の山の斜面一面に咲く、しゃ

くなげの花です。

この見事なしゃくなげの風景を見たたん、長い道のりを旅してきたお遍路さんも、これまでの疲れが一度に癒されるそうです。

■住所 小松町石鎚2253
TEL 0897-59-0142

■しゃくなげの見頃

5月上旬
(年によって異なります)

■駐車場 あり

※途中の林道は有料。

